

キャリアコース 週1日登校型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数						
選択	5	15		2						
教科書		副教材等								
高等学校 改訂版 標準現代文B (第一学習社)		基礎からの総合トレーニング現代文1 習得STEP編								
学 習 目 標										
近代以降の様々な文章を読むことにより、文章を的確に理解する能力を育成するとともに、作品鑑賞をとおして思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。基本的な読み書き、語句の意味、文法、修辞などに習熟し、言語感覚を磨いて、自己を表現する力を育む。										
学 習 内 容										
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (1) 随想「ワスレナグサ」(第1回レポート) (2) 小説「調律師のるみ子さん」(第2回レポート) (3) 評論「新しい地球観」(第3回レポート) (4) 詩歌「永訣の朝」(第4回レポート) (5) 評論「情けは人の……」(第5回レポート) (6) 小説「ナイン」(第6・7回レポート) </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="width: 45%; vertical-align: middle;">第1～7回 前期範囲</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (9) 随想「食と想像力」(第8回レポート) (10) 小説「話を聞かせて」(第9回レポート) (11) 詩歌「折々のうた」(第10・11回レポート) (12) 評論「経験の教えについて」(第12・13回レポート) (13) 小説「山月記」(第14・15回レポート) </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="width: 45%; vertical-align: middle;">第8～15回 後期範囲</td> </tr> </table>					(1) 随想「ワスレナグサ」(第1回レポート) (2) 小説「調律師のるみ子さん」(第2回レポート) (3) 評論「新しい地球観」(第3回レポート) (4) 詩歌「永訣の朝」(第4回レポート) (5) 評論「情けは人の……」(第5回レポート) (6) 小説「ナイン」(第6・7回レポート)	}	第1～7回 前期範囲	(9) 随想「食と想像力」(第8回レポート) (10) 小説「話を聞かせて」(第9回レポート) (11) 詩歌「折々のうた」(第10・11回レポート) (12) 評論「経験の教えについて」(第12・13回レポート) (13) 小説「山月記」(第14・15回レポート)	}	第8～15回 後期範囲
(1) 随想「ワスレナグサ」(第1回レポート) (2) 小説「調律師のるみ子さん」(第2回レポート) (3) 評論「新しい地球観」(第3回レポート) (4) 詩歌「永訣の朝」(第4回レポート) (5) 評論「情けは人の……」(第5回レポート) (6) 小説「ナイン」(第6・7回レポート)	}	第1～7回 前期範囲								
(9) 随想「食と想像力」(第8回レポート) (10) 小説「話を聞かせて」(第9回レポート) (11) 詩歌「折々のうた」(第10・11回レポート) (12) 評論「経験の教えについて」(第12・13回レポート) (13) 小説「山月記」(第14・15回レポート)	}	第8～15回 後期範囲								
学 習 方 法										
<p>【レポート】随想、小説、評論、詩歌をとりあげます。レポートを解くときは、教科書・授業ノート・授業内に配布される補助プリントをよく見て解きましょう。また、レポートの中に書いてある指示(「この場所を見て解きましょう」といった指示)を見逃さずに解きましょう。</p> <p>【授業】教科書・授業ノート・その回のレポートを用意してください。レポート問題の解説を直接行う場合もありますので、忘れずに毎回用意してください。</p> <p>【考査】考査では主にレポートの学習内容を中心に出題します。返却された添削済みのレポートはなるべくさずに見直しをしましょう。考査前までには考査範囲となるレポートの解答を配布します。</p>										
評 価 基 準 と 評 価 方 法										
各回のレポート評価、考査結果、授業への取り組みを総合して判断します。15回のレポートを全て提出して合格をもらい、1年間で行われる全授業回数の3分の2(約50回)以上に出席し、4回の考査の平均点が30点以上であることが、単位認定の条件です。										
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解						
国語への関心を持ち、課題に意欲的に取り組	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞	目的に応じてさまざまな文章を書き、自分の	文章を的確に読み取り、正しく理解して、自	伝統的な言語文化、言葉の特徴やきまり、漢						

もうとしているか。	き取ったり、話し合ったりしているか。	考えをまとめ、深めているか。	分の考えを深め、発展させているか。	字などについて基礎的な知識が身についているか。
-----------	--------------------	----------------	-------------------	-------------------------

担 当 者 よ り 一 言

現代文Bはまず、教科書の本文をよく読むことが求められます。読むことを通してそれぞれの作品とじっくりと向き合い、さまざまな価値観に触れ、自分自身の考え方を広げましょう。単位修得のためにレポートの提出や考査での得点はもちろん大切ですが、それだけに終わらず、ぜひ忘れられない一作品に出会ってほしいと思います。

キャリアコース 1日型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	6		2
教科書		副教材等		
日本史A 現代からの歴史（東京書籍）				
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学「歴史」での学習の復習もしながら、日本の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連づけて、現代につながる生きた歴史を学習する。 ・ 日本史の学習を通して、将来の日本を担う国民としてふさわしい歴史的教養を身につけ、主体的に生きる日本人としての自覚と資質を育てる。 				
学 習 内 容				
【前期】 ○教科書は、P 2～95までを学習。 ○学習の中心（レポート） <ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちの時代と歴史（第1回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちと歴史の結びつき ・ 近代日本の形成（第2回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際情勢の変化と明治維新 ・ 東アジア世界の変動と日本（第3回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 日清戦争と近代社会の確立 2. 日露戦争と帝国日本の形成 		【後期】 ○教科書はP 96～200までを学習。 ○学習の中心（レポート） <ul style="list-style-type: none"> ・ 二つの世界大戦と日本（第4回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一次世界大戦と帝国日本 4. 太平洋戦争 ・ 第二次世界大戦後の国際社会と日本（第5回） <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代世界の開幕と日本の戦後改革 ・ 現代の世界と日本（第6回） <ol style="list-style-type: none"> 2. 冷戦の終焉と日本 		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業でレポートの内容について説明を聞く。 ・ 教科書、授業時の資料を用いてレポートを作成し、期限を守って提出する。 ・ 教科書・返却されたレポート・対策プリントの内容を理解し、考査を受験する。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
レポートの提出と評価、考査の成績を総合的に判断して評価する。				
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

キャリアコース 1日型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	4	1 2		4
教科書		副教材等		
高等学校地理A(第一学習社)		基本地図帳(二宮書店)		
学 習 目 標				
我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。				
学 習 内 容				
【前期】 ○教科書は、P 4～1 2 1 までを学習。 ○学習の中心(レポート) 地球儀や地図でとらえる現代世界(第1回) 世界の人々の生活を取りまく地理的環境(第2・3回) 世界の諸地域の生活・文化と環境(第4～6回)		【後期】 ○教科書はP 1 2 2～1 9 9 までを学習。 ○学習の中心(レポート) 世界の諸地域の生活・文化と環境(第7回) 私たちが直面する地球的課題(第8～1 0回) 日常生活と結びついた地図(第1 0・1 1回) 自然環境と防災(第1 2回) 生活圏の地理的な諸課題と地域調査(第1 2回)		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業でレポートの内容について説明を聞く。 ・教科書、授業時の資料を用いてレポートを作成し、期限を守って提出する。 ・教科書・返却されたレポート・対策プリントの内容を理解し、考査を受験する。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
レポートの提出と評価、考査の成績を総合的に判断して評価する。				
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

キャリアコース 1日型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	6		2
教科書		副教材等		
最新現代社会 新訂版（実教出版）				
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・中学「公民」での学習の復習もしながら、現代社会を政治・経済・や文化・倫理 など多方面から 探究し、現代社会の全体像を客観的に把握する。 ・現代社会のあるべき姿とそこに生きる人間のあり方を考えられる態度を育て、複雑多様で変化も 大きい現代社会において、他に流される ことなく、主体的に生き、民主的・平和的な国家社会の 有為な形成者の1人となりうる力を育てる。 				
学 習 内 容				
【前期】 ○教科書は、P 6～109までを学習。 ○学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の課題（第1回） 3. 生命科学と情報技術の課題 ・青年期と自己形成（第2回） 1. 自分らしく生きる ・現代の民主政治と日本国憲法（第3・4回） 1. 現代国家と民主政治 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 日本の政治機構と政治参加 		【後期】 ○教科書はP 110～201までを学習。 ○学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会と国民生活（第4・5回） 1. 現代の経済 2 日本経済の特質と国民生活 ・国際社会と人類の課題（第6回） 1. 国際政治の動向 2. 国際経済の動向と国際協力 		
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業でレポートの内容について説明を聞く。 ・教科書、授業時の資料を用いてレポートを作成し、期限を守って提出する。 ・教科書・返却されたレポート・対策プリントの内容を理解し、考査を受験する。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
レポートの提出と評価、考査の成績を総合的に判断して評価する。				
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。	
担 当 者 よ り 一 言				
先行き不透明な社会を生き抜く力を身に付けます。自分自身と結びつけながら学んでください。				

キャリアコース週1日登校型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
選択必修	2	9	12	4
教科書		副教材等		
高等学校改訂新化学基礎（第一学習社）		改訂ネオパルノート化学基礎（第一学習社）		
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化への関心を高め、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。 化学の学習内容が日常生活や社会とかわかっていることを知り、身近な物質とその変化への関心を高める。 化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、活用する能力を身に付ける。 				
学 習 内 容				
(1) 物質とその構成要素（レポート①②）（前期中間考査） (2) 化学結合（レポート③④）（前期期末考査） (3) 物質質量と化学反応式（レポート⑤⑥）（後期中間考査） (4) 酸・塩基とその反応（レポート⑦⑧）（後期期末考査） (5) 酸化還元反応（レポート⑨）（後期期末考査）				
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> レポート 問題は教科書に沿ったものが中心となりますが、一部応用問題もあります。 授業 教科書に沿って、レポートの内容に触れながら説明します。 副教材で試験対策を行います。 試験 副教材から中心に出題します。中間考査は授業中に行います。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> 評価は次の観点を踏まえ、レポートの評価、授業の出席状況、試験の成績などを総合して評価します。 				
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
自然の事物・現象に関心をもち、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	基本操作を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
担 当 者 よ り 一 言				
物質とその変化について学習します。プリントや副教材などでわからないところは、積極的に質問してください。				

令和3年度 教科シラバス（キャリアコース）

教科	保健体育	科目	体育（2年次）
単位数	3単位	レポート	3回
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	ステップアップ高校スポーツ

学習目標

体育・スポーツに関する知識を理解できるようにし、運動の合理的な実践および健康の増進と体力の向上に活用することができる資質や能力を育てる。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
（第1回レポート） ・運動・スポーツの文化的特徴 ・バレーボール・サッカー・体づくり運動 （第2回レポート） ・運動・スポーツの学び方 ・テニス・卓球・体づくり運動	（第3回レポート） ・豊かなスポーツライフの設計 ・バドミントン ・体づくり運動

学習方法

週4日登校型	週1日登校型
・レポート 教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技 それぞれの時間を楽しみながら実践する。 身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中のレポートで出席の代替えとする。	・レポート 教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技 それぞれの時間を楽しみながら実践する。 身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中のレポートで出席の代替えとする。

評価方法

週4日登校型	週1日登校型
レポートの評価、授業の出席状況、授業の中で行う実技テストの成績などを総合して評価します。 レポートをすべて提出し、合格し、出席時数を満たしたならば単位が認定されます。	

コース キャリア1日登校型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
選択	3	9		2
教科書		副教材等		
SELECT English Expression1 三省堂		SELECT English Expression1 Workbook 三省堂 チャンクで英単語 Basic 三省堂		
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な文法事項を復習し、情報や考えなどを伝える能力の向上を図る。 ・場面を想定し、簡単な会話や説明ができるようになる。 				
学 習 内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ・前期 (教科書 Lesson1～Lesson8) あいさつ (現在形)、世界の食文化 (過去形)、スポーツ (進行形)、旅行 (未来表現)、 芸能 (現在完了形)、日本文化 (現在完了形)、環境 (助動詞①)、国際社会 (助動詞②) ・後期 (教科書 Lesson9～Lesson16) 生き物 (不定詞①)、生き方 (不定詞②)、自然科学 (動名詞)、芸術 (受動態)、外国語ことば (分詞)、 ご当地 (関係代名詞)、活躍する高校生 (関係代名詞)、地理 (比較) 				
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業 <ul style="list-style-type: none"> ・文法説明を聞き、要点をノート・ワークにまとめます。 ・ワークを使い、文法理解を深めます。 ・習った表現を用い、自己表現文を書きます。 ・レポート <ul style="list-style-type: none"> ・各課のまとめとしてレポートを作成します。 ・教科書やワークを見て取り組みましょう。 ・試験 <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの内容を確認する問題です。しっかりと復習して試験に臨みましょう。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
以下の観点をつまみ、出席状況、レポート提出状況、定期考査の成績などから総合的に評価します。				
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解	
課題に感心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	身近なことを話題にしたり書いたりして、考えを適切に伝えることができる。	身の回りの情報や、聞いたり読んだりしたことを正しく理解している。	言語の運用に関する基礎的な知識を身に付け、背景にある文化を理解している。	
担 当 者 よ り 一 言				
授業では、簡単な表現を使って適切に自分の気持ちや状況を英語で伝える練習をします。文法は基礎的なものから難しいものまで、1年間で広く復習することができます。より多くの英単語や表現を使って自己表現文が書けるように、学んでいきましょう。				

コース キャリア1日登校型

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
選択	2	6		2
教科書		副教材等		
Sailing English conversation 啓林館		Sailing English conversation ワークブック 啓林館 チャンクで英単語 Basic 三省堂		
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> 英語での情報や考えを理解する、自分の考えを発表するなど、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、身近な話題について会話する能力を養う。 異なる文化を理解し尊重する態度を育てる。 				
学 習 内 容				
前期	教科書 Lesson1～Lesson 4 自己紹介、他人紹介、予定の聞き方、過去の出来事の質問、飛行機内での会話 電話での応答			
後期	教科書 Lesson 5～Lesson10 道案内、買い物の仕方、相手をほめる、体調の聞き方、職業、家事について			
学 習 方 法				
・授業	<ul style="list-style-type: none"> リスニング練習をし、自己表現文を書きます。 教科書を読み、重要表現をノートにまとめます。 発音や会話の練習をします。 			
・レポート	<ul style="list-style-type: none"> 各課のまとめとしてレポートを作成します。 教科書やワークを見て取り組みましょう。 			
・試験	<ul style="list-style-type: none"> レポートの内容を確認する問題です。しっかりと復習して試験に臨みましょう。 			
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
以下の観点から踏まえ、出席状況、レポート提出状況、定期考査の成績などから総合的に評価します。				
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解	
コミュニケーションに感心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常生活の身近な問題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり発表したりして表現する。	日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識、その背景にある文化なども理解している。	
担 当 者 よ り 一 言				
将来、自分が外国旅行をした時、また外国人の友人ができた時に、一言の表現や単語が外国の人々と心を通わせるきっかけになるかもしれません。そんな気持ちで、積極的に発話練習をして会話表現を覚えましょう。また、6回のレポートは授業の内容の復習です。授業では、間違いを恐れず自由な気持ちで自己表現文を書いてみましょう。				

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必履修	2	7	8	2
教科書		副教材等		
ともに生きる・持続可能な未来をつくる(第一学習社)		おとなドリル(教育図書)		
学 習 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・生活に関する知識や技術、考え方を身につけ実践して、これからの長い人生を自分らしい充実したものにする。 ・生活の主体者になったときの生活の仕方を考え実践できるようにする。 				
学 習 内 容				
<ul style="list-style-type: none"> (1) これからの生き方と家族(第1回レポート) (2) 次世代をはぐくむ(第2回レポート) (3) 充実した生涯・ともに生きる(第3回レポート) (4) 食べる・装う・住まう(第4・5・6回レポート) (5) 経済生活を営む(第7回レポート) 				
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・レポート 教科書に沿った内容の問題となります。 ・授業 教科書に沿って、学習プリント。副教材を利用しながら学習します。レポートの内容に触れながら試験対策を行います。 ・試験 学習プリント、レポート、副教材を中心に出题します。前期：(1)(2)(3)、後期(4)(5) 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
<p>人と人との関係、経済や消費、高齢者の問題、子育て、着ること、食べること、住まうこと、環境問題など多くの視点から考え生活に生かせるようになったか、学習プリントの提出、レポート、定期考査、授業態度等で総合的に判断して評価します。</p>				
関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
生活に対する関心を高め る態度を身につける	生活の主体者として思考 し、判断する	生活の主体者としての生 活の仕方を自ら実践し、 表現できる	生活に関し多くの視点か ら考え生活に生かせるよう にする。	
担 当 者 よ り 一 言				
<p>私からあなたへお願いすることは、ただ一つ、「自分で考え、行動する」ことです。家庭科の授業は生活に密着しています。あなたの生活はあなたが主人公です。誰もが自分らしい生活をし、そして幸せになりたいのです。そのためには自分らしさとは何か、自分らしい生活とは何か、どう生きていけばよいのか大いに悩み、迷い、価値観を確立していかなければなりません。そのために必要なことを家庭科の授業を通して学び習得してください。学習内容でわからないところは積極的に質問してください。</p>				